

お知らせ

- ・ 第9回コウノトリの郷との交流 9月7日(土) 豊岡
- ・ 畑儀文の合唱教室 9月9日(月) 草志舎
- ・ アメニティ・アカデミー 第Ⅲ期セミナー 9月14日(土) 草志舎
- ・ アンサンブル・アメニティ・コンサート 10月19日(土) 浪花教会
- ・ 町並み見学会(宿泊) 11月7日(木)、8日(金) 舞鶴、美山町、熊川宿、今津町

予告1**第24回名建築と音楽シリーズ～アンサンブル・アメニティ・コンサート**

いつもすばらしいハーモニーを聴かせてくれるアンサンブル・アメニティのコンサートです。今年はいギリスの作曲家ダウランドの生誕450年とか。それを記念してイギリスの曲をお送りします。会場の浪花教会は1930年築の瀟洒な建物です。今年1月の歴史的建築物研究会で訪問し歓迎を受けたのも記憶に新しいところです。



日時 10月19日(土) 午後6時半 **場所** 浪花教会(大阪市中央区高麗橋)

定員 100名 **参加費** 会員 2,000円 一般 2,500円

出演 アンサンブル・アメニティ

畑儀文(テノール)、高本一郎(リュート)、赤松由夏(ヴァイオリン)、春木浩子(ハープ)

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。

ご報告1**第3回神戸ワーキングホリデー 8月6日(火)～9日(金) ヴォーリズ六甲山荘**

天候にも恵まれ、無事終了しました。留学生の参加がなかったことは残念でしたが、参加学生は少人数ながら熱心にプログラムに取り組んでくれました。作業は遊歩道の整備、西面の窓枠塗り、石窯のタイルによる装飾を半面、リビングの床磨きを、当初の予定どおり完了しました。石窯ピザ、有馬温泉、六甲山散策、野点も楽しく行いました。学生さんたちがだんだんうちとけて、夜のリビングで楽しそうに談笑している様子は見えてもうれしい光景でした。

学生会員の小林さん、福井さんもよくがんばってくれました。スタッフの皆さんも暑いなか通ってくださって、お疲れさまでした。皆さん、ありがとうございました。

**予告2****町並み研究会～～秋の美山町とさば街道をたずねて**

今年の宿泊町並み研究会は舞鶴、美山町、小浜、熊川宿、今津町を訪ねます。赤レンガ倉庫群の舞鶴、かやぶきの里美山町、若沢湾の町小浜、若狭街道の中継地熊川宿、ヴォーリズ建築の残る今津町です。若狭街道は別名さば街道ともよばれ、日本海と京都をむすぶ重要な街道でした。全行程を貸し切りバスでまわります

月日 11月7日(木)～8日(金) **参加費** 会員 30,000円 一般 35,000円

宿泊 美山町 旅館「きぐすりや」 **定員** 25名

詳しくは同封の案内チラシあるいはホームページをごらんください。

ご報告2**写生会 8月29日(木) ヴォーリズ六甲山荘**

12名の参加者、そのうち小学生が6名で、前田豊稔さんの指導を受けながら思い思いの絵を描いておられました。ランチは名物の石窯ピザ。午後はゆっくりくつろいでいただき、最後に鈴虫を庭に放しました。これからはしばらく虫の音が楽しめるといいですね。西宮在住の東日本大震災被災者の母子もご招待しました。



<アメニティ・アカデミー>

○第Ⅲ期セミナー「会員なら知っておきたい基礎講座」

第5回は第Ⅲ期セミナーの締めくくりとして、アメニティ 2000 協会が今後進むべき道や抱えている課題等について語り合います。講師は清水理事長です。

第4回 9月14日(土) 午後2時～ 草志舎にて

「協会の現状と展望」 講師 清水彬久(当協会理事長)

受講料 1回につき 1,500円 (お茶代込み)

○畑儀文の合唱教室

テノール歌手として第一線で活躍中の畑儀文さんは合唱の指導者としても定評のある方で、少人数での楽しい教室です。
まだ少し余地がありますので、参加ご希望の方はお早くお申し出ください。

月日 2013年4月～2014年3月(8月はお休み) 第3月曜日(但し9月は9日) 午前10時半

9月は9日(月)

場所 草志舎(阪急西宮北口駅より徒歩3分)

参加費 11回通し 会員20,000円 一般25,000円 途中から参加(1回会員2,000円 一般2,500円)×残り回数

【コラム】

第3回ワーキングホリデーから

山田 康子(トラスト・ユース・センター長)

ヴォーリズ六甲山荘で、8月6日から9日まで第3回ワーキングホリデーが行われました。今春当協会に学生主体のトラスト・ユース・センターが発足したので、今回の参加者は文化財や自然環境を守る活動に関心を寄せる男女4名の学生となりました。ユース・センター長の私は、初日のみ参加予定でしたが、参加者やスタッフの皆さんとともに作業しながらヴォーリズ六甲山荘で過ごす気持ちのよさや、ボリュームたっぷりで美味しさも格別の食事に魅せられて都合3日間山荘通いをしました。初日には、虫は苦手とか体調不安な参加者もいたので、4日間耐えられるか気がかりでしたが、終了時には、山荘で熟睡でき食事美味しく変化に富みよい体験ができた喜んでいただけました。この感想は、理事長さんはじめ関係者の事前準備や心遣いがあったのものでしょうか。

保全活動のほかに、夜景見物や温泉など楽しい行事も色々ありました。

さて初日、晚餐のバーベキューを始めたとなん急に土砂降りの雨。急遽深い軒下に移動し、雨にもめげず作業後の食欲旺盛のままに完食。

二日目昼食は山荘名物石窯ピザ。スタッフによるオール手作業のピザづくりでしたが皆の分担でできるのも速く、ここでも皆さんの段取りのよさに感心するばかりでした。前日からあたためられていた石窯では2分もかからずピザは次々に焼き上がり、風そよぐ緑のなかで熱々のピザや付け合わせのおかずを堪能しました。

最終日、参加者は紺地に白の模様違いの浴衣を着付けてもらい野点を体験し、会員のお茶の先生からお茶の基本を学びました。

今年のワーキングホリデー保全活動では、玄関西側壁の白の窓枠再塗装作業、間伐材などを使った遊歩道の整備、ぬか袋での居間床磨き、石窯のタイル貼りなどに取り組みました。皆さんも山荘に来られたときは、その成果をどうぞご覧下さい。そして来年はスタッフとしてぜひご参加ください。

「六甲山荘のクリーンアップ」に参加しませんか

ヴォーリズ六甲山荘には建坪80坪の建物と1700坪の敷地があります。これまで建物手入れは冬休み中に、敷地の手入れは有志の会員が随時行ってきました。これから公開期間中にも手入れを行いたいと思います。建物の中と外を、月1回程度、作業と会員の親睦をかねて集まりませんか。

日程 9月20日(金)、10月15日(火) 午前10時ごろから

内容 建物の清掃・・・窓ガラス拭き、床磨き、壁磨き等

庭の作業・・・笹の伐採、通路の清掃等

おいでになれる方はご連絡ください。

ほりだし市への出品のお願い

秋の恒例行事ほりだし市を今年も開催します。11月2日(土)の予定です。ついでには会員の皆さまに出品のお願いです。皆さんの手作りの手芸品などをお寄せください。例年特に人気のあるのが食品です。いつも家庭で作っておられるケーキ、クッキー、惣菜などお待ちしております。近年厨房に入られた男子の方々の自慢の一品も歓迎です。

《お薦めの本》

草月流家元 勅使河原茜著 「いけばな——出会いと心をかたちにする——」

中村 由美子

著者は勅使河原茜第四代草月流家元である。「砂の女」や「利休」の映画監督としても有名な勅使河原宏第三代家元の次女。祖父は「花のピカソ」と呼ばれた勅使河原蒼風初代家元で、いけばな人の心得をまとめた『花伝書』の著者である。この『花伝書』というのは精神論、芸術論、創造の哲学を論じた奥の深い本である。いけばなに無縁の方でも、芸術を追求される方や、独創的な仕事をされる方には、人生の指南書となるものである。茜家元は御自身の著書の中でこの『花伝書』を実にわかり易く一般の人の心にも響いてくるように解説しておられる。

そしてこの本には茜家元が受けられたご家庭での「自発的な創造への情熱」を育むことを大切にしている教育——かなりユニークな教育、また蒼風家元や宏家元のご家庭での素顔やエピソードが描かれていて、楽しく読み進める本である。

また茜家元は偉大な芸術家の祖父や父ゆえに、家元継承直後はとまどわれたり、自信をなくされたり相当ご苦労されたようであるが、困難に立ち向かい、個性を發揮し、自信を得て見事にトップのお立場を確立されて行かれる変化を包み隠すことなく綴っておられる。

新しい創造の世界での生き方を考える方にも大変読み易く、勇気を得られる本である。そして何より「いけるとは花と向き合い自分を見つめること」という信念のもと、変化を恐れずチャレンジしていく姿勢の大切さを促している。
(角川書店)

◇◆◇おしゃべリアラカルト◇◆◇

「地の人」と「風の人」

小田桐 一良

2013年7月13日(土)に開催された アメニティー・アカデミー 第3期 4回目は 黒田 睦子さん(奈良まちづくりセンター理事 当協会会員)の講演「市民の手で甦った元興寺界限」でした。

元興寺界限は奈良市城南西部にあり、狭い街路に、江戸時代以降の町屋が数多く建ち並んでいます。戦後の高度成長期に取り残された形で次第に衰退し、住む人も減って貴重な建物が取り壊されるケースも出てきました。

そのような状況の下、市民の手による持続可能なまちづくりをめざして1979年奈良まちづくりセンターが結成され、着々と成果を上げました。黒田さんは奈良まちづくりセンター結成時から活動に参加され、現在も活動の範囲を広げておられます。

今回のアカデミーでは活動の歴史と現状の報告をしていただきました。活動を続けるには「人」の結びつきが大切であるということを説かれました。

その中で「地の人」と「風の人」との混ざり合いが必要だと説かれました。外から(風のように)やってきた人から新しい刺激を受ける事によって地元の人たちの意識が前進し視界が開けるといふことです。

私にとって、今回の黒田さんは、正に「風の人」です。



深川和美・北野異人館コンサート

森田邦枝

歴史的建造物が会場という心躍る音楽会に参加した。

颯爽と登場された深川和美さんは、パリジェヌのように小粋で堂々としながらも可憐でなんとも魅力的な人だった。モダンな白と黒のストライプのドレスに素敵な帽子を身につけた姿は、まるでパリの社交界の花形のような。最初はクラシックの音楽会と思いかまえていたが、深川さんの歌声が明るくナチュラルで親しみやすく、また演奏される曲や作曲家などにまつわる話も聞けて初心者でも気楽に楽しめた。

一部は、深川さんが本来専門とするサティなど近代フランスの歌曲で構成。「星の夜・ドビュッシー」「エンパイヤ劇場の歌姫・サティ」「愛の小径・プーランク」など6曲。ものすごい才能を持った若い音楽家・画家・芸術家達が集い親交していた当時のフランス・パリの文化の水準の高さを知り、驚く。

幕間の休憩にはおいしいお茶をいただきながら、キャセリンハウスをあちこち見学できたのもうれしかった。

二部は日本の歌で、椰子の実・浜千鳥・星めぐりの歌など5曲。意外なことに、深川さんはもともと日本の歌は嫌いだったとか。阪神淡路大震災以降、日本の歌を見直されたという。最後に観客も参加できる歌を歌われたが、小心者の私はあまり声を出せず、それが少し心残り。

終演後、玄関ホールで出演者に見送られキャセリンハウスを後にしたが、トアロードの老舗帽子店のショーウィンドーに本日深川さんが被っておられたような美しい帽子の数々が並んでいた。余韻にひたりながら、パリも神戸も素敵な街だと思った。



夏別荘らしく忙しい月でした。まずワーキングホリデーは若者たちの活躍した充実の4日間でした。また7月末から宿泊客が相次ぎました。今年は特に暑さが厳しかったため、山荘の涼しさ、居心地のよさがいっそう実感されたようです。29日には写生会で子供たちの声があちこちに響いていました。大勢の人たちが夏を過ごしてくれて、山荘も喜んでいてしょう。

公開スタッフ募集

秋になると来場者も増え、公開日のスタッフが不足します。受付、喫茶はどなたでもできる仕事です。ガイド希望の方にはマニュアルもあります。初めての方もぜひお気軽にご参加ください。お待ちしております！



ヴォーリズ六甲山荘が掲載されました

奈良県内を中心に全国に配布されている情報誌「やまとびと」に六甲山荘が掲載されました。「ウィリアム・メレル・ヴォーリズの心」と題してヴォーリズ建築をとりあげているシリーズの一環です。丁寧な取材による文章と美しい写真です。編集長の堀井さんはこの取材を機に入会されました。

30部寄贈くださいましたので、ご希望の方にはお分けいたします。事務局までご連絡ください。

お願い ガラス瓶(小)をご寄付ください

ほりだし市で手作りのジャム、マーマレードを販売するために小ぶりのガラス瓶を求めています。ご家庭にある空き瓶で150ccていど入るものがありましたら、ご寄付いただけませんか。(多少の大小は問いません。ただあまり大きいのは避けてください)ご連絡くだされば受け渡しについてご相談させていただきます。

ワーキングホリデーの風景



窓枠塗り



ピザをつくる



参加者の活動の発表



遊歩道の整備



石窯のタイル装飾



米ヌカによる床磨き